



コンピュータ対戦型将棋ソフト

AI将棋3

老練至妙の戦術、疾風迅雷の寄せ。
最新の棋力を、堪能あれ。

序中盤の戦局は、名局名手を熟知した老練な策士。

そして終盤の寄せは、容赦なく追い詰める羅刹と化す。

あなたが挑むのは盤上の歴史そのもの。そして人工知能アルゴリズムの最前線。



取扱説明書

シリーズ累計

200
万本突破

◎数字はAI将棋シリーズの
累計出荷の実数です。



Scanné par BFrancois
<http://www.emulation64.fr>

NUS-NG3J-JPN
Emulation64.fr

目次

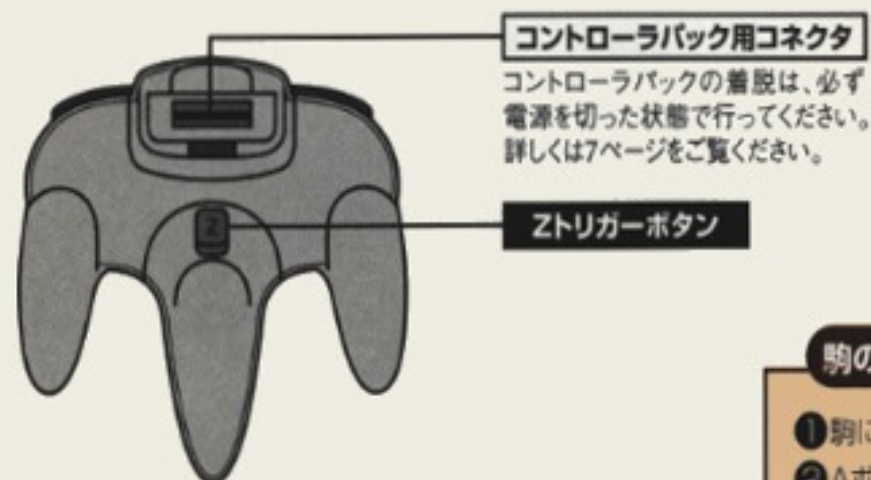
CONTENTS

コントローラの使い方	6
コントローラパックについて	7
ゲームの始め方	8
「AI将棋」の画面構成	9
対局を始める	10
対局を設定する	13
盤面編集機能	14
対局時の応用的な機能	15
棋譜の保存と読み込み	16
環境設定	18



コントローラの使い方

ここではコントローラの操作方法を解説します。基本的には、十字キーとAボタンだけでプレイできるようになっています。また、解説中の通常画面とは、対局画面以外の全ての画面をさします。



※コントローラ1台でも人間同士の対局は可能ですが、それぞれ1台ずつ2台のコントローラでお楽しみいただくこともできます。

駒の指し方(打ち方)

- ① 駒にカーソルを合わせる
- ② Aボタンで駒をつかむ
- ③ 駒を移動させる
- ④ Aボタンで指す(打つ)

コントローラパックについて

「AI将棋」では、棋譜・局面のデータや途中経過などを、コントローラパックに保存しておいたり、保存したものを呼び出したりすることができます。

「AI将棋」でのコントローラパックに対する条件

必要なページ数 111ページ

接続コントローラ 1のみ

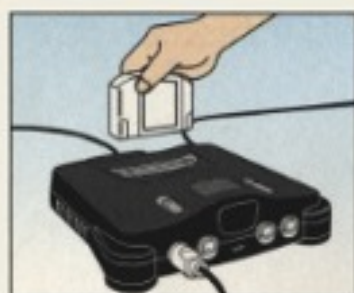
⚠️ ご注意

- コントローラパックは別売りです
- コントローラパックがないと、データは何も保存されません
→具体的に保存されない内容は、下の「コントローラパックがないと…」の欄をご覧ください。
- 棋譜、局面の保存を行わなくても111ページ使ってしまう
- コントローラパックの着脱は、必ず電源を切った状態で行ってください
→電源を入れた状態で着脱すると、保存されている内容が失われる恐れがあります
→電源を入れた状態でコントローラパックを装着すると、装着していないものと本体に判断されてしまいます
- コントローラパックを初期化する場合はコントローラのSTARTボタンを押しながらリセットボタンを押します。

🏠 コントローラパックがないと…

- 棋譜の保存ができません
- 局面の保存ができません
- 環境設定で変更した内容が保存されません
- プロモードが追加されたかどうか保存されません。詳しくは15ページをご覧ください。

ゲームの始め方



1 ロムカセットを本体にさして電源を入れる。



2 タイトル画面
タイトル画面が表示されたらスタートボタンを押してください。



3 左のようなメニュー画面になります。
新規対局にカーソルを合わせAボタンを押してください。



4 対局設定画面で対局開始にカーソルを合わせてAボタンを押してください。

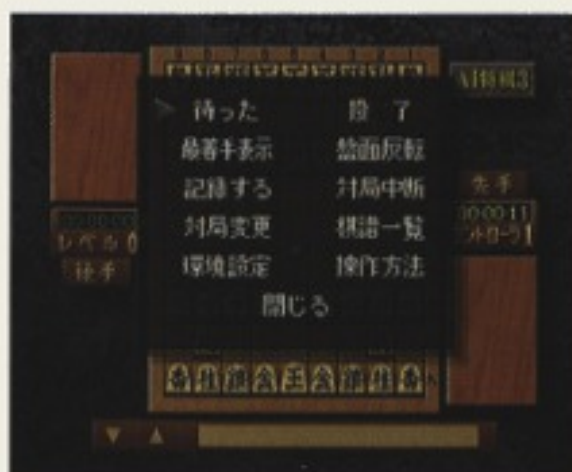
「AI将棋」の画面構成

「AI将棋」を起ちあげると次のような画面が表示されます。盤の下側が人間で先手、盤の上側がコンピュータで後手に設定されています。手合割は「平手」が選択されています。



棋譜表示

棋譜(対局の手順)を表示します。▲▼ボタンをスクロールさせることができます。一番下に最後の手が表示されます。



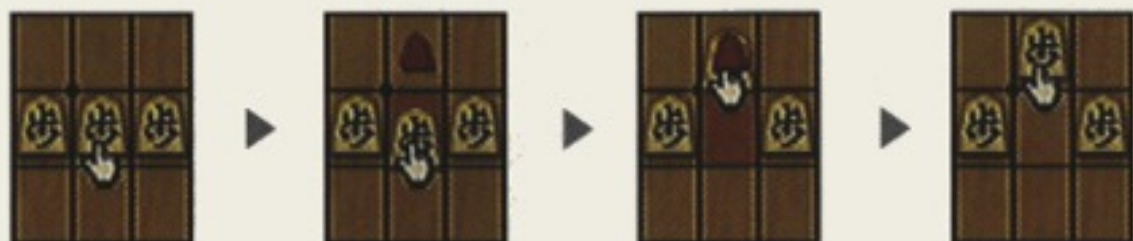
対局メニュー

スタートボタンを押すと対局メニューが表示されます。

対局を始める

駒をうつ

駒を動かすには次のように行います



動かしたい駒の上までカーソルを移動します。(図-左)

Aボタンを押して駒をつかむ(図-左中)

十字キーまたは3Dスティックでかしたい位置まで駒を移動する(図-右中)

もう一度Aボタンを押して指す。(図-右)

初心者の方へ

(「駒が動かせる場所を表示」と「警告の表示」オプション)



AI将棋では初心者の方のために、駒の動かせる位置を表示したり、王手を教えたりすることもできます。

詳しくは18ページをご覧ください。

成る／成らない



駒が成るか、成らないかの選択は、表示される画面で指定します。

取った駒を打つ

取った駒を打つ場合は、次のように行ないます。



駒を進めるのと同じ要領で、持ち駒の中から打ちたい位置まで駒を移動しAボタンを押します。

待った

待ったをする場合は、スタートボタンを押して「対局」メニューを開き「待った」コマンドを選びます。

最善手を表示

対局メニューから「最善手を表示」コマンドを選びます。
その時点での最善の手を表示します。

盤面反転

出荷時の設定では、盤の下側が人間で先手、盤の上側がAI将棋で後手になっています。このコマンドを使えば上下反転させることができます。

対局メニューから「盤面を反転する」コマンドを選んでください。

投了する。詰んでいたらそれを知らせる（「詰まされたら告げる」オプション）

投了する場合は、スタートボタンを押して「対局」メニューを開き「投了」コマンドを選びます。

また初心者の方にとっては、詰みを教えてもらったほうがいいかも知れません。環境設定画面で「警告の表示」をチェックしておくと、それを教えてくれます。

棋譜一覧

スタートボタンを押して「対局」メニューを開き棋譜一覧コマンドを選びます。それまでの棋譜の一覧が表示されます。



対局を終える。AI将棋を終了する

対局が終盤をむかえ、自分の負けを判断したら「対局」メニューから「投了」コマンドを選びます。最後まで指し続け勝負がつくと、画面に、手数と勝者を表示するメッセージが表示されます。

忙しくなったので、中断する

自分が指さないかぎり、AI将棋も手を進めません。時間の消費を気にしないのならこのまま放っておいてもかまいません。時間を止めておくためには、「対局」メニューの「対局中断」コマンドを選び棋譜を記録します。再開する時は、記録した棋譜を読み込みます。

※詳しくは17ページをご覧ください。

最大手数になった場合

AI将棋では、最大の手数が511手になっています。511手になった場合、勝負は引き分けになります。

対局を設定する

対局設定画面では、「先手、後手」「AI将棋の強さ」「手割合」「盤面編集」などの設定をすることができます。

手割合

ハンディキャップを付けて対局するには、「平手」以外のものを選びます。駒落に設定すると、「先手」→「下手」、「後手」→「上手」に表示が変わります。この場合、初手は「上手」が指すことになります。



AI将棋の強さ

Aボタンを押すとこの画面が表示されます。好みの強さレベルを選択してください。



人間同士の対局

コントローラが1台のときは「対局者1」「対局者2」とともに「コントローラ1」を選びます。それぞれ1台ずつコントローラを使用するときは「対局者1」「対局者2」のそれぞれに「コントローラ1」「コントローラ2」を選びます。

先手、後手

出荷時の設定では、先手が「人間」後手がAI将棋になっています(強さのレベルで表示されます)。

盤面編集

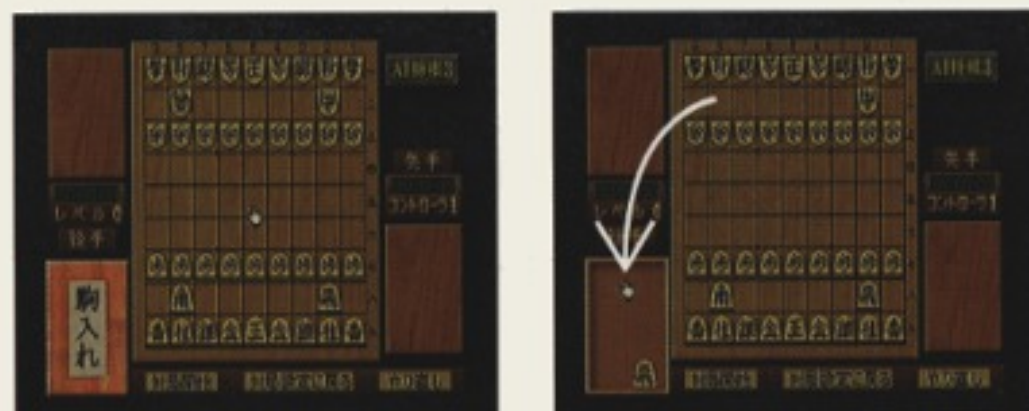
詳しくは14ページをご覧ください。

盤面編集機能

任意の駒を落としたり、駒を任意の位置に移動させておいて対局することができます。局面ごとの研究に便利な機能です。

編集方法

- 1.対局設定画面で「盤面編集の開始」コマンドを選びます。
- 2.画面の左下に、使わない駒を置いておく駒入れが表示されます。駒を移動する要領で、使用しない駒をここに持ってきます。



この作業を繰り返して、使用しない駒をすべて盤から取り去ります。

いったん取り去った駒を復活する

使用したい駒を選択し、将棋盤上の駒を置きたい位置まで移動し、Aボタンを押します。

駒の向きを変える/成る・成らないの変更

駒の向きを変えたり、成る・成らないを変更できます。変更したい駒にカーソルを合わせてAボタンを押し駒をつかみます。その状態でさらにAボタンを押してゆくと、押すたびに、向き、成る・成らないが変わります。

対局時の応用的な機能

AI将棋を本気にさせる

出荷時の状態では、AI将棋の強さは「レベル0」から「レベル5」までしか選べません。「途中でレベルを変更する」「待ったをする」「ファイル呼び出し、途中から対局する」などの単独な手を使うことなく、正々堂々と最初から対局し「レベル5」に勝つと、AI将棋はようやく本気を出し、「プロレベル」の強さが追加されます。

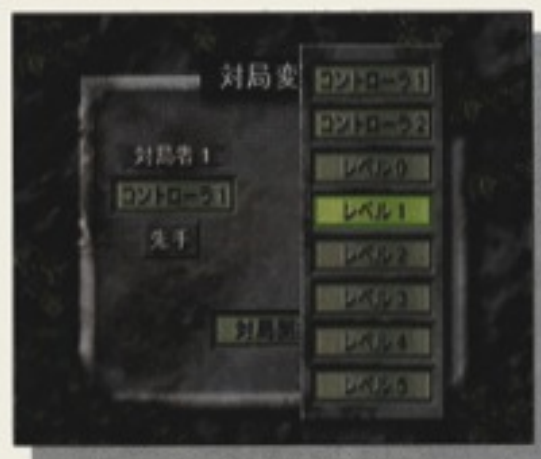
- ・「レベル5」に勝ったかどうかは、コントローラバックに保存されます。このため、コントローラバックがない場合は、毎回「レベル5」に勝ってからでないと、プロモードで対局していただくことができません。

対局中コンピュータの強さを変える

コンピュータの棋力がもの足りなくなったり、逆に歯が立たず手加減して欲しいときには、対局中にコンピュータの強さを変えることができます。

スタートボタンを押して対局メニューを表示し、対局変更を選択してください。対局変更画面が表示されます。「先手」または「後手」に設定してあるコンピュータの強さレベルを調整してください。

このとき「手合割」や「コンピュータの戦型」を変更することはできません。これらは、新規に対局を始めるときのみ設定できます。



どうして自分が勝ったのかわからないとき

コンピュータが投了してくれたが、なぜ自分が勝ちになるのかわからないことがあります。こんな時は、対局変更画面で「先手」と「後手」の設定を入れ替えて（自分とコンピュータを入れ替えて）、対局を続けてみるといいでしょう。

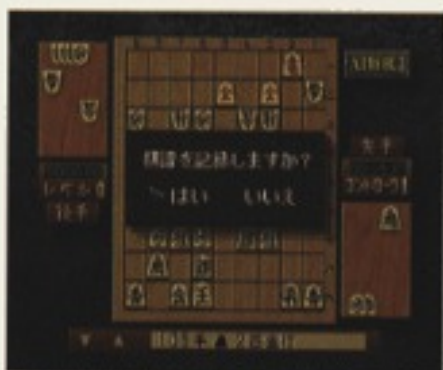
棋譜の保存と読み込み

棋譜の保存



1. 棋譜の保存は次の場合に行えます。

- 対局終了(投了)後
- 対局を中断した時
- 対局メニューで「記録する」を選択した時



2. 「棋譜を保存しますか? はい いいえ」と表示される画面で、「はい」にカーソルを合わせ、Aボタンを押します。



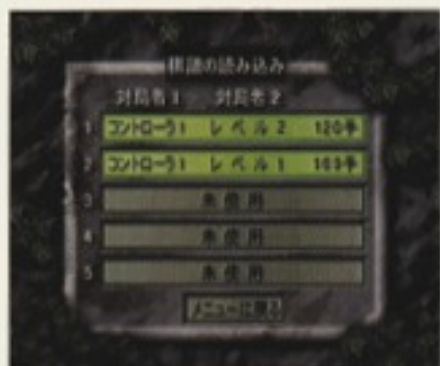
3. 現在、保存されている棋譜一覧が表示されますので、保存する箇所を選んでAボタンを押します。
「保存します。よろしいですか?」と表示されますので、再び「はい」にカーソルを合わせてAボタンを押してください。

※コントローラバック1つに5個まで保存できます。

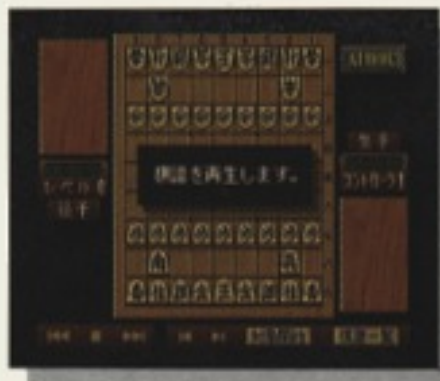
棋譜の読み込み



1.メインメニューで読み込みを選択します。



2.棋譜読み込み画面で十字キーを操作し、読み込む棋譜データを選んでAボタンを押します。

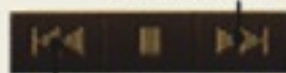


3.対局が再生されます。

対局中にAボタンを押すと再生を停止します。

◀▶ ボタンで1ステップずつ再生、逆再生することができます。

再生終了まで飛ばす



対局開始時に戻す

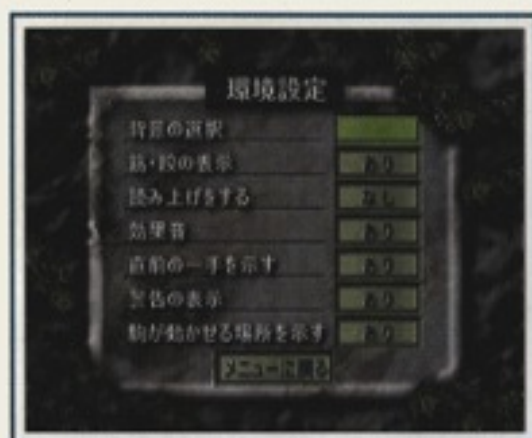
1ステップずつ再生



1ステップずつ逆再生

環境設定

メインメニューまたは対局メニューから環境設定コマンドを選択します。設定を変更したい項目にカーソルを合わせAボタンを押し十字キーまたは3Dスティックで変更します。



背景の選択

対局面面の背景を入れ替えます。

筋・段の表示

筋や段数を盤に表示します。

読み上げをする

指した駒の棋譜を読み上げます。

駒を指したとき、効果音を鳴らします

駒を指したとき、効果音を鳴らします。

直前の一手を表示

ちょっと目を離したときにAI将棋が手を指すと、どこに指したのかわかりにくいことがあります。環境設定画面で「直前の一手を表示」をチェックしておく、最後に指された駒の位置がハイライト表示されます。

警告の表示

王手がかかった場合や詰まされた場合に、警告を表示します。これが煩わしい場合は、OFFにしてください。このコマンドは人間同士の対局では無効です。

駒が動かせる場所を示す

つかんでいる駒を移動できる先を、ガイド表示します。駒をどこに動かせるかルールを知らない初心者の方は、このコマンドをONにしておくといいいでしょう。